第１回　社会

制限時間 40 分　女子学院中学校 2027 年度対策　オリジナル問題
解答は別の紙に書きなさい。選択肢の問題で答えが複数ある場合は、すべて答えなさい。「モデル」とある資料は問題用に作ったものである。

Ⅰ　田から食卓まで

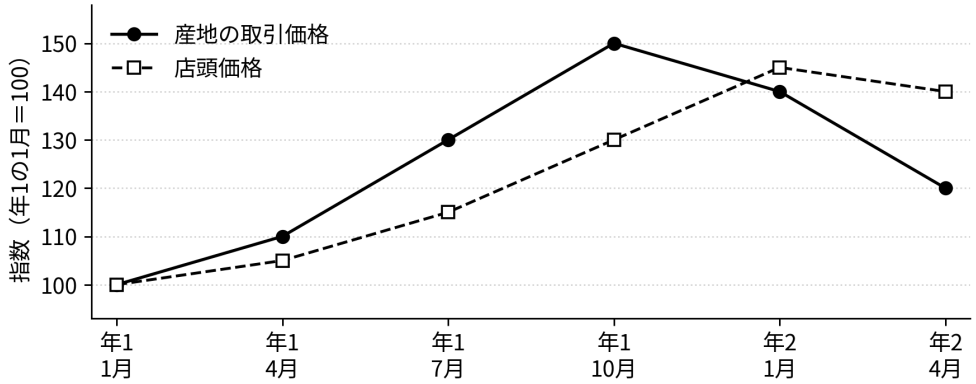
Y さんは、米が作られる地域と、米が店に届くまでの値段の変化を調べた。

資料１　地域	特徴をまとめたメモ
A	日本海側にあり、信濃川などがつくった低く平らな土地が広がる。
B	最上川の河口に近く、かつて酒田港から米などが運ばれた。
C	北海道にあり、札幌を含む広い平野に石狩川が流れる。

問１　A・B の平野の名前を答えなさい。また、C のような北海道の米作りについて、正しいものをすべて選びなさい。
ア　冷涼な地域に合う品種が開発されてきた。　　イ　冬に雪の積もった田で稲を育てる。
ウ　平野で大きな機械を使った栽培が行われる。　　エ　米はすべて他の地域から入ってくる。
次の表は、三つの地域のある年の生産と使い道を単純にしたモデルである。表中の「地域外向け」は「収穫量」から「地域内向け」と「種・加工など」を引いた分である。

資料２　米の量	収穫量	地域内向け	種・加工など	地域外向け
A	48 万 t	12 万 t	4 万 t	32 万 t
B	30 万 t	7 万 t	3 万 t	20 万 t
C	56 万 t	18 万 t	6 万 t	（　X　）

問２　X に入る数を答えなさい。単位は万 t とする。また、A・B・C のうち、収穫量に占める地域外向けの割合が最も小さい地域を答えなさい。
問３　同じ年に C だけで、地域内向けも種・加工なども変わらず、収穫量が 7 万 t 少なかったとする。地域外向けは元の量の何%になるか。小数第 1 位を四捨五入して整数で答えなさい。
資料 3 の二つの指数は、産地で取引する値段と、店で 5 kg ずつ売る値段を、それぞれ年 1 の 1 月を 100 として表したものである。



資料 3　産地の取引価格と店頭価格の指数モデル

問４　モデル年 1 の 1 月の産地取引価格が、玄米 60 kg あたり 12,000 円だったとする。資料 3 から、モデル年 1 の 7 月の価格は、同じ 60 kg あたり何円か。
問５　資料 3 からいえるものをすべて選びなさい。
ア　産地の取引価格の指数が最大になるのは、モデル年 1 の 10 月である。
イ　店頭価格の指数が最大になるのは、産地の取引価格の指数が最大になるより後である。
ウ　モデル年 2 の 4 月には、店頭価格が産地の取引価格より高いと、この指数の大小だけからわかる。
エ　二つの線を比べるだけで、実際の値段の差を円で計算できる。
問６　産地の取引価格が下がり始めても、すぐには店頭価格が下がらないことがある。店で売る米がいつ、いくらで仕入れられたかにふれて、理由を一つ書きなさい。
問７　米の自給率と、日本全体の食料自給率の関係について正しいものをすべて選びなさい。
ア　米の自給率が高くても、食料全体の自給率が同じ高さになるとは限らない。
イ　食料全体の自給率を出す方法には、カロリーを基準にする方法と、生産額を基準にする方法がある。
ウ　飼料の自給を考慮する計算でも、輸入した飼料の量は関係しない。
エ　国産米を増やしたときの影響は、代わりに食べなくなった品目によらず同じである。
問８　A 地域は雨が少なかった年に、収穫量も減った。ほかの原因も考えられるか確かめたい。雨以外について、追加でどんな資料を調べるとよいか。調べ方も書きなさい。

II　大坂に集まった米

江戸時代、諸藩は領地から得た米を大坂の蔵屋敷に運び、そこで売って現金を得た。大坂の堂島では、蔵から米を受け取るための米切手を売買する取引のほかに、米をすぐに受け渡さず、先の時期の米の値段を決め、取り決めによって値段の差を精算する取引も行われた。前者を「正米商い」、後者を「帳合米商い」という。堂島の市場は 1730 年に幕府に公認された。

問 1　大坂に諸藩の米が集まった理由として適切なものをすべて選びなさい。

ア　米を運ぶ水上交通を利用でき、米を買い取る商人がいた。
イ　藩は、年貢として受け取った米の一部を売り、支出に使う現金を得られた。
ウ　江戸幕府は、米の売買を大坂市中の農民だけに認めた。
エ　全国の大名には、大坂の蔵屋敷で一年おきに暮らす決まりがあった。

問 2　1730 年に将軍であった人物の名を答えなさい。また、その人物の時代に行われた改革の名を答えなさい。

ある商人が、三か月後に米 100 俵を買う必要がある。問 3・4 では、次の単純な仕組みを考える。

> いま 1 俵 4,000 円と決める。三か月後、実際の米はその時点の値段で買う。
> 市場の値段が 4,000 円を超えたら、買い手はその差額を取引の相手から受け取る。4,000 円を下回ったら、買い手がその差額を相手に払う。手数料はない。

問 3　上の約束は正米商い・帳合米商いのどちらに近いか。また、三か月後の値段が 1 俵 4,600 円だったとき、商人が相手から受け取る額は 100 俵分で何円か。

問 4　今度は、三か月後の値段が 1 俵 3,700 円だったとする。商人が実物を買う代金と、取引の相手に差額として払う額を合わせると、何円になるか。

問 5　この商人があらかじめ上の取引をする利点として最も適切なものを、一つ選びなさい。

ア　値上がりや値下がりがあっても、米の仕入れに必要な額を早めに見通せる。
イ　約束した瞬間に、実際の米を倉庫に入れられる。
ウ　値上がりしたときも値下がりしたときも、取引の相手からお金を受け取れる。
エ　どんな場合にも、この約束をしなかったときより安く買える。

問 6　次のア〜エの出来事を、古い順に並べなさい。

ア　地租改正で、土地の価格をもとに税を現金で納める仕組みができた。
イ　米の値上がりに対する抗議が各地に広がり、寺内内閣のあと原敬が首相となった。
ウ　豊臣秀吉が、石高で土地の生産力を示す検地を進めた。
エ　堂島の米市場が幕府に公認された。

問 7　江戸時代の米の流通と関わりの深いものをすべて選びなさい。

ア　日本海側の港と大坂を、関門海峡を経由して結ぶ船の道があった。
イ　年貢米の輸送には船が使われた。
ウ　諸藩は、五街道の各宿場に蔵屋敷を置いて年貢米を売った。
エ　東海道新幹線が大坂の蔵屋敷の米を江戸まで運んだ。

問 8　藩は年貢を米で受け取り、必要な支出のため一部を売っていた。収穫量も、藩が売る量も同じだったとき、米の値段が下がると、藩の現金収入はどうなるか。米を買って暮らす町人への影響とあわせて書きなさい。

問 9　文書 A には「ある日に米 100 俵」とあり、文書 B には同じ日に「米の代金 400,000」とある。Y さんはこの二つを使って 1 俵の値段を出そうとした。割り算をする前に二つの文書でどんなことを照合する必要があるか。一つ書きなさい。

III　不足に備える

ある年、収穫直後には十分な量があると思われていたが、夏に店で米が品薄になった。A 市の担当者は、品薄の原因を考える前に、調べた数が何を表すか確かめた。下の表は、市内の店がある月に記録した米の流れを表すモデルで、各月のはじめは前の月のおわりと同じ量である。米の出入りは、入荷と販売だけとする。

月	月のはじめの在庫	月内の入荷	月内の販売	月のおわりの在庫
6 月	90 t	300 t	310 t	80 t
7 月	80 t	280 t	330 t	30 t
8 月	30 t	300 t	320 t	（　X　）
9 月	（　X　）	390 t	340 t	（　Y　）

問 1　X・Y をそれぞれ求めなさい。単位は t とする。

問 2　資料からいえるものをすべて選びなさい。

ア　7 月は 6 月より入荷が少なく、販売は多かった。

イ　8 月のおわりの在庫が 7 月より減ったのは、8 月の販売が入荷より多かったからである。

ウ　7 月に店で売れた米のすべてが、その月に家庭で食べられた。

エ　9 月の入荷が増えた理由は、表から政府が備蓄米を放出したためと決められる。

問 3　買い置きする家庭が増えたのか、実際に米を食べる量が増えたのかを区別したい。店の販売量のほかに、家庭についてどのような資料を集めればよいか。一つ書きなさい。

国は米の供給が不足する場合に備えて、米を保管している。実際に供給が不足した場合、保管している米を市場に出すという方策がある。次の問いでは、これを「放出」という。

問 4　備蓄米の放出について、正しいものをすべて選びなさい。

ア　市場で入手できる量を増やし、一時的な不足を緩和する。

イ　その年にすでに刈り取った米の収穫量そのものを増やす。

ウ　放出した分が店に届くまでの流通も考える必要がある。

エ　放出によって、国の倉庫に残る米が必ず増える。

問 5　米の供給に関する法律案を国会で審議する。法律を制定する機関を答えなさい。また、衆議院で可決した通常の法律案を参議院が否決した場合、衆議院で再び可決して法律とするには、出席議員の何分のいくつ以上の賛成が必要か。

問 6　米の流通を調べる農林水産省は、立法・行政・司法のどの働きを担うか。また、予算を最初に審議するのは衆議院・参議院のどちらか。

問 7　B さんは同じ種類の米の広告を二枚見つけた。P 店は 3 kg 入りで 1,980 円、Q 店は 5 kg 入りで 3,150 円だった。1 kg あたりでは、どちらが何円安いか。

問 8　P 店は米の値段を前の月より下げたが、同じ地域にある店の米の平均価格は上がった。二つの事実が同時に成り立つ理由を、P 店以外の店の値動きにふれて書きなさい。

問 9　「備蓄米を放出した月と価格が下がった月が同じなら、値下がりの原因は放出だけである」とは判断できない。原因を考えるために、追加でどのような情報を、どの時点のものと比べるとよいか。一例を説明しなさい。